

じゅうじ つうしん 十次通信

「4年ぶりコロナ落ち着きお接待十次喜ぶゆかりの布施屋」



令和5年6月6日

第18号

<石井十次に学ぶ会>発行

4年ぶりに総会開催

令和5年5月13日(土)、大宮コミュニティハウスにおいて4年ぶりに総会を開催することができました。東森貢会長の開会の挨拶に続いて、顧問の叶原土筆氏にお話を頂きました。主な協議内容は、令和4年度の事業報告並びに収支決算、令和5年度の役員並びに活動組織、令和5年度の事業計画並びに収支予算、会則の一部改訂について等でありすべて承認されました。

また会員数も個人100名、7団体となりました。ご欠席の会員の皆さまには「十次通信」第18号の紙面をもってご報告とさせていただきます。ご了承ください。

なお、本年度の事業計画は次の通りです。それぞれの活動を通してさらに充実発展させていきたいと思っておりますので一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 事業計画

月	活動内容
4月	・総会案内送付(上旬)
5月	・総会(5/13(土)13:30~大宮コミュニティハウス) ・保全活動(上阿知大師堂、診療所跡地)(お接待前) ・上阿知大師堂にてお接待 5/21(日) ・山南学園6年生校外学習(45名)5/26(金)
6月	・「十次通信」NO.18発行 ・「石井十次資料館研究紀要」第24号投稿(「石井十次展」開催について) ・団体研修(大宮地区愛育委員会)6/18(日)10時~ プラザ山南 ・現地視察(笠岡市民生委員児童委員協議会)6/20(火) ・講演会(津山市民生委員児童委員連合協議会より依頼)6/26(月)13:30~津山文化センター(約300名) ・団体研修(児童館長合同研修会)6/28(水)13:30~ 宿毛児童館
7月	・大宮桃太郎祭り参加
8月	・石井十次展示室開設予定
9月	・第2回役員会(当面の活動について) ・「十次通信」NO.19発行
10月	・品子と子どもたちの墓、炭谷小梅の墓の清掃 ・ゆかりの地訪問(倉敷方面の予定)
11月	・石井記念友愛社訪問(11/23収穫祭参加予定) ・冊子『石井十次の教えを今に』第3版発刊
12月	・保全活動(上阿知大師堂、診療所跡地) ・「十次通信」NO.20発行
1月	・学習会または講演会
2月	
3月	・第3回役員会(反省と次年度に向けて) ・「十次通信」NO.21発行

*団体研修・出前講座(随時)

【豆知識】 ~十次を支えた炭谷小梅~

炭谷小梅は元芸者でしたが、熱心なキリスト教伝道師となり、岡山孤児院設立当初から十次を支えた最大の支援者の一人です。十次は年上の小梅を「小梅姉」と慕い、全幅の信頼を寄せていました。その小梅が岡山孤児院創立20周年記念会に臨んだときに詠んだ歌が残されています。

「はたとせを重ねて今そ思うなる上阿知村のしつかふせ屋を」

この歌は、20年を経て今しみじみ思うのは、孤児救済事業のきっかけとなった上阿知村の静かな布施屋(大師堂)であるという思いを詠ったものです。この歌からも上阿知の大師堂が岡山孤児院発祥の地として十次の生涯に重要な意味を持つ地であることを伺い知ることができます。小梅直筆の短冊は石井記念友愛社内にある石井十次資料館に所蔵されていますが、上阿知大師堂内にも小梅の写真と共に掲示しています。ご来訪の際はぜひご覧ください。小梅のお墓は岡山市の東山斎場前の小路を南に下ったところにあります。

上阿知大師堂でのお接待再開

令和元年に20年ぶりに復活して以来、コロナ禍で中止していた上阿知大師堂でのお接待を令和5年5月21日(日)に再開することができました。本会の活動としては2回目になります。

前日までに会員や上阿知東町内会の有志の方で、清掃、菓子・十次に関する配布資料などの準備をして当日を迎えました。当日は早朝より「石井十次に学ぶ会」「お接待あります」の幟を立てて参拝者を迎えました。天候にも恵まれいつもは静かな大師堂や診療所跡地に面した小径が多くの人が行き交う通りとなりました。今年は日曜日であったせいか周辺各地から若い家族連れの参拝者が目立ちました。「石井十次ってどんな人?」「この地域の人?」等の率直な質問もあり、とりわけ若い層の人に石井十次についてもっと認知度を高めていく活動が大切であると感じました。お接待はその良い機会にもなります。

なお、この活動に際し、倉敷在住の中村暢之氏よりお接待用のお菓子をたくさんご寄付していただきました。心からお礼申し上げます。

山南学園6年生岡山孤児院発祥の地見学

令和5年5月26日(金)、山南学園6年生41名と引率の先生2名が「山南区歴史探検」と称して総合学習の時間に岡山孤児院発祥の地を見学し、大宮コミュニティハウスで紙芝居を見て石井十次の偉業について学びました。

この学習のめあては、創設されて2年目となる山南学園の学区内の史跡を巡り、それらの歴史を学ぶことで人々の功績や労苦、土地を愛する心に気付き、自らも地域の一員として主体的に関わろうとする姿勢を持つとあります。

現地見学では、東森会長が「石井十次に学ぶ」とはどういうことかと問いかけたり、十次が大切にしていた「友愛」という言葉の意味を分かりやすく話したりしました。次に大宮コミュニティハウスに移動し、藤田繁子さんの朗読による紙芝居『石井十次物語』を見て十次の偉業や大宮地区上阿知が岡山孤児院発祥の地と言われる所以について学びました。

昼食後、漫画『石井十次物語』とお接待のお菓子を一人一人に手渡しました。家に持ち帰り、石井十次のことが話題になることを願っています。

この日は一日かけて学区(旧4小学校区)を巡るものであり、児童にとってかなりハードなスケジュールの中での学習でしたが、次世代の子どもたちに石井十次の偉業を伝え今に生かす活動として本会は重視しています。今後も山南学園と連携してより意義のある活動にしていきたいと考えています。



◎会員募集 石井十次について一緒に学び

郷土の魅力を再発見しませんか。

問い合わせ先/東森 TEL. 090-6843-9333

〒704-8142 岡山市東区上阿知 963